

第8章 公益財団法人群馬県スポーツ協会

I 生涯スポーツの推進に関する事業

1 スポーツの普及啓発に関する事業

(1) 健康スポーツ指導者バンク運営事業

少子高齢化や社会の急激な変化に伴い、県民のスポーツに対するニーズも高度化・多様化をしている。年齢や体力等に応じたスポーツの指導ができる人材の育成及び資質向上を目的とする研修会・講習会を開催するとともに、地域、職域等のニーズに応じた指導者を派遣しスポーツの指導を行うことで、県民の健康に対する意識の高揚と健康の保持増進を図った。

ア) 生涯スポーツ巡回指導

市町村・各教育委員会等へスポーツ指導者の派遣事業を紹介し、地域や職場並びにスポーツ愛好団体等のニーズに応じた健康スポーツ指導者バンク登録者を派遣した。

○健康スポーツ指導者バンク登録者				112人
○巡回スポーツ指導	通年	県内各地	38会場	43人
○健康スポーツ指導者バンク運営	通年	県内各地	7,791件	23,750人

イ) 健康スポーツ指導者養成講習会

健康スポーツ指導者を養成するため、18歳以上の一般県民の中で健康スポーツ指導者を志す者や現指導者を対象に4日間（理論8時間・実技16時間）のカリキュラムで講習会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

期 日 令和2年12月12日（土）～12月20日（日）
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
新型コロナウイルス感染拡大防止として中止

ウ) 健康スポーツ指導者研修会

健康スポーツ指導者バンク登録者の資質向上を図るとともに、レクリエーションインストラクター養成講習会受講者の現場実習の履修単位として開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

期 日 令和2年7月4日（土）
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
新型コロナウイルス感染拡大防止として中止

(2) 生涯スポーツ普及事業

健康・体力づくりのスポーツ指導者及びスポーツ愛好者、生涯スポーツ関係団体を対象に楽しめるニュースポーツを紹介するとともに、生涯スポーツ関係組織との連携、強化を図り、生涯スポーツの普及・推進を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

ア) 生涯スポーツ講習会

期 日 令和2年9月6日（日）
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
新型コロナウイルス感染拡大防止として中止

(3) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

地域に根ざしたスポーツクラブを育成し、県民が日常の中で継続してスポーツを行う環境を整備するとともに、明るく元気な地域社会づくりを推進するため、また、全市町村に少なくとも一つはクラブを育成するという目標に未育成町村解消に向けて実績豊富なクラブアドバイザーを専門スタッフとして配置するとともに、地域の実情を把握するため現地に出向いてヒアリング等を行った。

ア) 総合型地域スポーツクラブ支援事業

県内の総合型地域スポーツクラブの円滑な活動及び設立に向けた取り組みの活性化を図ることを目的とした群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が組織されている。その組織を育成することは本協会の目的である生涯スポーツの推進に寄与することに繋がると考えることからその運営に対し支援・連携を行った。

○現地ヒアリング実績:15市町村

○県内総合型スポーツクラブ育成状況:クラブ数 22市町村 35クラブ
育成率 62.9% (22/35市町村)

2 スポーツの機会を提供する事業

(1) スポーツ体験事業

本県スポーツ人口の底辺拡大を図るため、県内の小学生を対象にスポーツをする機会を提供し、体を動かすことの爽快感、楽しさを味わってもらうための教室を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により一部の講座・教室が中止となった。

ア) チャレンジスポーツ教室

加盟競技団体 14団体、加盟地域団体 4団体 参加者数 524人

イ) 渡部絵美スケート教室

期 日 令和2年11月
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター アイスアリーナ
新型コロナウイルス感染拡大防止として中止

(2) 教室・公開講座開催事業

県民に誰でも気軽にスポーツに触れる機会を提供することで、スポーツの楽しさと汗をかく爽快感を味わい、健康・体力の保持増進を図るとともにスポーツを通じて仲間との交流の輪を広げることを目的に施設の特性を活かした各種教室、公開講座を開催する予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止対策によりすべての講座・教室が中止となった。

ア) テニス公開講座

期 日 令和2年4月～11月
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター テニスコート
新型コロナウイルス感染拡大防止として中止

イ) 初心者アイススケート教室

期 日 第1回 令和2年12月15日(火)～18日(金)
第2回 令和3年1月19日(火)～22日(金)
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター アイスアリーナ
新型コロナウイルス感染拡大防止として中止

ウ) エンジョイ健康教室

期 日 前期 令和2年4月15日(水)～7月17日(金)
中期 令和2年9月2日(水)～11月27日(金)
後期 令和2年12月2日(水)～令和3年2月24日(水)
※原則水曜日・金曜日の午前と午後
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんまアリーナ
新型コロナウイルス感染拡大防止として中止

エ) 初心者カーリング教室

期 日 令和2年11月初旬・令和3年2月下旬(2日間)
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター伊香保リンク 屋内第1リンク
新型コロナウイルス感染拡大防止として中止

(3) 総合スポーツセンター管理運営事業

利用者の立場に立ち、生涯スポーツの推進、県民体力の保持増進、競技力向上を目指し、健康で明るく豊かなスポーツ健康立県ぐんまの実現に向けて、多種・多様なニーズに応え、安全で衛生的、省エネ環境に配慮した施設を提供するための管理運営を実行した。また、この施設の設置目的を達成するため管理運営上の基本方針、環境保護策等を的確に把握し、県内唯一のスポーツ団体としていかなる社会状況下においても県民へのサービス向上を第一に、総合的な実行性を持って取り組んだ。

ア) 管理運営施設

ALSOK県総合スポーツセンター、本館、ぐんまアリーナ、ぐんま武道館、弓道場、サブアリーナ、アイスアリーナ、テニスコート、ふれあいグラウンド、宿泊棟、アーチェリー場、スポーツ資料館、その他の付属施設

イ) 施設の活用

管理運営施設はその設置目的である県民の体力増進、競技力の向上及びスポーツの普及推進に資するように、利用促進を図るとともに、大規模なスポーツイベント等の受け入れや実施事業を積極的に行い、効果的な施設の活用を図った。

新型コロナウイルス感染防止として、4月1日から5月27日の期間は一部会議室を除き全館休館、5月28日からトレーニング室、本館会議室、テニスコート、アーチェリー場を開館し、7月2日からサブアリーナ、本館スポーツルームを開館、8月1日から宿泊棟を除く施設を全開館した。

○大規模大会の利用状況（8大会）

10月24日～25日	全日本ノービスフィギュアスケート選手権大会	840人
11月14日～15日	スーパーキッズ選考会	920人
12月12日～13日	中体連卓球ぐんまチャレンジリーグ2020	1,640人
12月19日～20日	前橋市長杯U12バスケットボール大会	1,820人
12月25日～27日	関東高校選抜卓球大会	4,800人
3月6日	春の小学生ドッジボール選手権大会	1,200人
3月23日	令和2年度群馬大学学位記授与式	1,180人
3月27日～28日	第3回群馬県バスケットボールフェスティバル	4,000人

ウ) 利用者数

利用者数は、ぐんまアリーナ42,813人、ぐんま武道館35,372人、サブアリーナ28,222人、本館11,110人、アイスアリーナ12,366人、テニスコート（会議室を含む）29,041人、ふれあいグラウンド3,251人、宿泊室0人、アーチェリー場3,241人の合計165,416人であった。

月別等の内訳は群馬県総合スポーツセンター利用者数(別表)のとおりである。

エ) 利用料金の収納

施設利用料については、県の条例・規則に基づき利用者から徴収し、県の収入事務取扱要領に基づき適正な経理処理を行い、その全額を利用料金収入として計上した。令和2年度の利用料金収入は28,165,710円であり、内訳は群馬県総合スポーツセンター利用料金収入額(別表)のとおりである。

オ) 県総合スポーツセンター施設無料開放

県民が、スポーツを身近なものとして日常生活に取り入れられるように、県総合スポーツセンター施設の無料開放をすることとしていたが、新型コロナウイルス感染防止対策として人数制限を設けながらの開館であったため、県民スポーツの日（毎月10日）とアイスアリーナの無料開放は休止、県民の日（10月28日）のみの実施となった。

カ) 施設設備の維持管理

施設及び設備は、適正な保守管理、業務の委託等により、円滑な運営と維持管理に万全を図った。

○大規模工事

県スポーツ振興課の協力のもと、下記工事を実施した。

- ・テニスコート女子トイレ洋式化工事
- ・アイスアリーナ冷凍機ユニット圧縮機交換工事
- ・宿泊棟厨房内排水角桝改修工事
- ・本館浄化槽修繕工事
- ・アイスアリーナ天井復旧工事
- ・アイスアリーナ排煙窓更新工事
- ・サブアリーナ男子・女子シャワー室改修工事
- ・ぐんまアリーナ空調リモートユニット更新工事

- ・本館2Fスポーツルーム排煙オペレーター修繕工事
- ・電話設備更新工事
- ・アーチェリー場改善工事
- ・ぐんまアリーナ空調設備更新等工事
- ・変電設備更新工事

キ) 季刊誌の発刊

当施設季刊誌「Sports Season」を年4回季節ごとに発刊することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う事業変更等の理由から発行しなかった。

(4) 県総合スポーツセンター伊香保リンク管理運営

伊香保リンクの「設置目的（県民の体力増進、スケート及びアイスホッケーの競技力向上並びに普及推進を図り、スポーツだけでなく地域の活性化に不可欠な施設）」を最大限に発揮できるよう、総合的な実行性を持って取り組んだ。

ア) 管理運営施設

県総合スポーツセンター伊香保リンク、屋外400mリンク、屋内第1リンク、屋内第2リンク、リンクハウス、審判棟、管理棟、競技運営棟

イ) 施設の活用

管理運営施設は、設置目的である県民の体力増進、競技力の向上及びスポーツの普及推進に資するよう、利用促進を図るとともに、伊香保リンクを地域活性化の資源とすべく県、渋川市等の関係団体と積極的に連携してイベント等を実施するなど効果的な施設の活用を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止としてイベント等は中止とした。

○施設の使用期間

屋内第1リンク	令和2年 9月 1日（火）～令和3年 3月31日（水）
屋内第2リンク	令和2年10月 1日（木）～令和3年 2月28日（日）
屋外リンク	令和2年11月10日（火）～令和3年 2月28日（日）

○施設の営業時間

午前9時から午後10時まで

○大規模大会の利用状況（2大会）

11月27日～29日	第40回全日本学生スピードスケート選手権大会	2,600人
12月11日～13日	第29回関東高等学校スケート競技選手権大会（アイスホッケー競技）	1,210人

ウ) 利用者数

利用者数は、屋内第1リンク6,573人、屋内第2リンク4,761人、屋外400mリンク2,728人、個人利用5,440人、リンクハウス5,352人の合計24,854人であった。

月別等の内訳は群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク利用者数(別表)のとおりである。

エ) 利用料金の収納

施設利用料については、県の条例・規則に基づき利用者から徴収し、県の収入事務取扱要領に基づき適正な経理処理を行い、その全額を県へ納付した。

県へ納付した額は11,076,850円であり、群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク使用料収入(別表)のとおり。

オ) 県総合スポーツセンター伊香保リンク施設無料開放

県民の健康保持増進のため、群馬県民の日（10月28日）にスポーツ施設無料開放の実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

カ) 施設設備の維持管理

施設及び設備は、適正な保守管理、業務の委託等により、円滑な運営と維持管理に万全を図った。

○大規模工事

県スポーツ振興課との連携のもと、利用者目線を中心とした下記工事等を実施した。

- ・製氷車更新
- ・屋内第1リンクトイレ洋式化工事
- ・屋内第2リンク排煙窓修繕工事
- ・受電盤SPD（避雷器）設置工事
- ・配水流量計ノイズ対策修繕工事
- ・屋外リンク地下ピット蓋交換工事

キ) 広報活動

伊香保リンクの一般開放日拡大に伴い、一般の方に広く周知するため渋川市及び渋川伊香保温泉観光協会等と連携した広報活動を積極的に行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止による社会情勢を踏まえた活動のみとなった。

①ホームページによる情報発信

新型コロナウイルス感染拡大により、ステイホーム（在宅）の時間が長くなり県民の運動不足が懸念されたことから、健康づくりの手助けとして「ぐんぐん体操」紹介動画の作成・掲載、新型コロナウイルスに関する感染予防対策の情報等を発信した。なお、伊香保リンクホームページ閲覧数は16,372件だった。

②のぼり旗の設置

渋川伊香保温泉観光協会周辺、ロープウェイ等に伊香保リンクののぼり旗を設置し周知を図った。また、相乗効果を図るため前橋のアイスアリーナへも設置をした。

③伊香保リンクニュースの発行

伊香保温泉旅館や周辺観光施設などに伊香保リンクのタイムリーな情報を発信するため、「伊香保リンクニュース」を作成し配付した。

発行日： 8月27日、 9月9日、10月22日、10月31日、11月25日、12月3日、
12月19日、 3月31日

ク) 伊香保リンクを活用した地域活性化促進事業

伊香保リンクを積極的にPRするとともに、地域活性化の資源とすべく県、渋川市、関係団体が共同で各種事業の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ほとんどの事業が中止になった。

①群馬デスティネーションキャンペーン無料滑走イベント

期 日 令和2年4月18日（土）
会 場 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク 屋内第1リンク
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②スポーツ推進絵画コンクール

期 日 令和2年9月下旬～令和3年2月中旬
展示会場 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク リンクハウス
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③JAFオートテストin伊香保リンク（渋川市への委託事業）

期 日 令和2年5月24日、7月5日
会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク第2駐車場
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④アクティビティー無料体験イベント（渋川市への委託事業）

期 日 令和2年8月1日、7日、8日、21日、22日
会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外リンク、リンクハウス、
屋内第1リンク
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ⑤初心者スケート教室（渋川市への委託事業）
 期 日 令和2年10月3日、10日、17日、24日、31日
 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋内第1リンク
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ⑥初心者アイスホッケー教室（渋川市への委託事業）
 期 日 令和2年10月4日、11日、18日、25日
 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋内第1リンク
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ⑦伊香保リンク星空観察会（渋川市への委託事業）
 期 日 令和2年10月24日
 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外リンク、競技運営棟
 参加者数 94名
- ⑧伊香保リンクグランドオープンセレモニー
 期 日 令和2年11月下旬
 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外リンク、屋内第1リンク
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ⑨伊香保リンクまつり2020（渋川市への委託事業）
 期 日 令和2年12月26日
 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外リンク、屋内第1リンク
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ⑩著名スケーター指導イベント（渋川市への委託事業）
 期 日 令和3年1月30日
 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外リンク
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ⑪伊香保リンク感謝DAY
 期 日 令和3年2月上旬
 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外リンク、屋内第1リンク
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ⑫伊香保リンク映画鑑賞会（渋川市への委託事業）
 期 日 夏～秋頃
 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク第2駐車場
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ケ）利用者アンケートの実施

サービスを向上させるための取組で、年1回利用者が一番多い時期にアンケート調査を実施し、「お客様の声」を取りまとめ業務に反映させた。

また、「うけたまわりボックス」をリンクハウス内に常設し利用者の要望等を取り入れる体制を整えた。

①大規模アンケートの実施

より一層の利用者サービスの向上及び施設の安全の確保のため、次のとおり大規模アンケートを実施した。

調査期間 令和3年1月19日～2月18日
 対象人数 100人

②うけたまわりボックス

リンクハウス内に通年でうけたまわりボックスを設置し利用者の要望把握に務め、改善を図った。

また、要望に対しての回答をリンクハウス内に掲示した。

(5) スポーツ情報提供事業

各種スポーツ事業の紹介やスポーツに関する情報を本協会ホームページ及び刊行物等で発信することにより、スポーツ活動に対する理解やスポーツへの興味関心を高め、県民により多くのスポーツの情報を発信した。

ア) ホームページの運営

新型コロナウイルス感染拡大により、ステイホーム（在宅）の時間が長くなり県民の運動不足が懸念されたこともあり、健康づくりの手助けとして「ぐんぐん体操」紹介動画の作成・掲載、新型コロナウイルスに関する感染予防対策の情報等、関係者に必要な情報を発信した。

イ) 刊行物の発刊

刊行物として「ぐんまのスポーツ」、「年報」を発刊し、いずれの刊行物も無償で加盟団体及び関係団体に配布した。

①「ぐんまのスポーツ」事業紹介・各種大会の結果等 (年2回) 550部

②「年報」毎年の事業記録、事業報告や研究調査の成果等 (年1回) 600部

ウ) スポーツライブラリー

ALSOKぐんま総合スポーツセンタースポーツ資料館内にスポーツ情報提供コーナーを設置し、スポーツ図書等を定期的に購入して、県民に対し無料閲覧及び無料貸出等の情報提供サービスを行った。

3 青少年スポーツの健全な育成に関する事業

(1) 青少年スポーツ育成事業

スポーツ少年団活動を通じて、そこから生まれる喜びや楽しさが新たな感動を呼び起こし、さらには協調性や創造性など生きるうえで基本となる豊かな情操を養う。

また、スポーツを通じて社会のルールを学び相手を思いやる心を養うなど良き社会人への成長に結びつけることを目的に下記事業を実施した。

ア) スポーツ少年団大会開催事業

各種目を愛好するスポーツ少年団員を一堂に会し、技術の向上と競技の喜びを体験させるとともに、団員相互の親睦を図り、少年スポーツの健全な発展を目的とし下記大会を実施することとしていたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月末までの群馬県スポーツ少年団各種交流大会は中止となった。

なお、第56回スポーツ少年団大会のうち、全日本U-12サッカー選手権大会群馬県大会を兼ねている小学生サッカーのみ開催した。

○第39回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 群馬県予選会

期 日 令和2年5月2日（土）～6月28日（日）

実施種目 軟式野球・空手道・バレーボール・ミニバスケットボール・
バドミントン 計5競技

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター その他県内各会場

参加団員数 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○第56回群馬県スポーツ少年団大会

期 日 令和2年10月24日（土）・31日（土）・11月7日（土）・14日（土）・29日（日）

実施種目 サッカー ※その他7競技は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

会 場 前橋総合運動公園 他

参加団員数 3,600人

○群馬県スポーツ少年団競技別交流大会

期 日 令和2年9月21日（月）～令和3年3月28日（日）

実施種目 ソフトテニス・軟式野球・バレーボール・ソフトボール・スケート
（フィギュア） 計5競技

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター その他県内各会場

※一部競技は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○スポーツ少年団全国・関東派遣事業

大会名	期 日	会場及び競技
関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会	令和2年 7月18日 (土) 19日 (日) 9月21日 (月) 22日 (火)	千葉県 軟式野球 バレーボール、ミニバスケットボール バドミントン、空手道 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
全国スポーツ少年大会 (リーダーズアクション2020)	令和2年 7月18日 (土) 19日 (日)	静岡県 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
関東ブロックスポーツ少年大会	令和2年 8月 7日 (金) ～9日 (日)	茨城県土浦市 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	令和2年 8月 6日 (木) ～9日 (日)	岩手県 軟式野球 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	令和3年 3月26日 (土) ～29日 (日)	宮城県 バレーボール 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
全国スポーツ少年団剣道交流大会	令和2年 3月26日 (金) ～28日 (日)	福島県 剣道 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ) スポーツ少年団顕彰事業

スポーツ少年団フェスティバルの開会式および、『群馬県スポーツ少年団顕彰「優良単位団・功労者表彰」』、『日本スポーツ少年団顕彰「表彰市区町村スポーツ少年団並びに登録指導者」』の伝達式については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。

期 日	令和3年2月27日 (土)			
会 場	ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんま武道館			
受賞者人数	群馬県表彰	優良単位団	23団体	功労者 39人
	日本表彰	市町村表彰	2町1村	表彰指導者 4人

ウ) スポーツ少年団指導者養成等事業

スポーツ少年団の育成指導にあたる指導者の資質向上と意識の高揚を図り、少年団活動におけるより一層の活性化を促進するため研修会・講習会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

また地域におけるスポーツ少年団活動の活性化を図るとともに、単位団及び地域の将来にわたる後継者の養成を目指し、日本スポーツ少年団リーダー制度に基づくジュニア・リーダースクールの開催を予定していたが、同じく中止となった。

事業名		期日及び会場
講	育成母集団研修会	令和2年9月5日(土) 吉岡町 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	ジュニア・リーダー スクール	令和2年11月21日(土)～23日(月) 国立赤城青少年交流の家 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
習	スタートコーチ(スポ ーツ少年団養成講習会)	令和2年 7月25日(土)・26日(日) 8月29日(土)・30日(日) ALSOKぐんま総合スポーツセンター 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	県スポーツ少年団指導 者研修会	令和2年12月5日(土) ALSOKぐんま総合スポーツセンター 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ) スポーツ少年団フェスティバル

期 日 令和3年2月27日(土)
会 場 県総合スポーツセンター ぐんま武道館大道場
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

オ) 日独スポーツ少年団同時交流事業

期 日 令和2年7月27日(月)～8月6日(木)
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

カ) 日独青少年指導者セミナー(受入)

期 日 令和2年10月29日(水)～11月11日(水)
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

4 各種大会を通じ社会参加を促進する事業

(1) 社会参加促進事業

スポーツによって年齢や障がいの有無に関係なく誰もが生きがいのある豊かな生活を営むことが出来る社会の創造を目指し、下記の大会を受託したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

ア) ぐんまねりんピック2020(県長寿社会づくり財団からの受託)

平成16年度に本県で開催された第17回全国健康福祉祭群馬大会(ねりんピックぐんま)の成果と意義を継承し、スポーツや文化活動を通じた高齢者の積極的な健康の保持増進と社会参加、生きがいづくりを進め、明るく活力ある長寿社会づくりを推進することを目的として実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

期 日 令和2年10月22日(木)
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター その他県内各会場
対 象 県内在住の昭和37年4月1日以前に生まれた人で、大会参加に
支障のない健康な者
種 目 ゲートボール、ペタンク、ソフトボール、テニス、ソフトテニス、卓球、
グラウンドゴルフ、弓道、剣道、水泳、マラソン、なぎなた、太極拳、
ソフトバレーボール、囲碁、将棋、健康マーじゃん
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

II 健康増進・体力向上に関する事業

5 県民体力づくり相談に関する事業

(1) 県民体力づくり相談事業

県民が健康で快適に生活できるように、安全で無理のない運動・スポーツ指導を行い、健康の保持増進・体力の向上が図れるよう「県民体力づくり相談事業」として県民のスポーツニーズ(レベル)に応じた各種測定・メディカルチェック及び栄養指導を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部事業を除き中止とした。

なお、緊急事態宣言下で運動不足による健康問題を少しでも解消できるよう、本協会ホームページを通じて家でも運動が手軽にできる情報を積極的に発信した。

ア) メディカルチェック・体力測定及び栄養指導の実施

健康体力測定では理学療法士、臨床検査技師及び本協会のスポーツ医科学委員会に所属する内科・整形外科の日本スポーツ協会公認スポーツドクター等の専門家との連携及び協力により医学的な検査を、さらに栄養面では栄養調査結果から管理栄養士が個々の食生活についてアドバイス・指導を行い、これらの結果に基づいた運動プログラムの作成や助言・指導することで県民の健康・体力づくりへの関心をより一層高めるとともに医科学面からも体力の向上や健康的な生活ができるようサポートを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部事業を除き中止とした。なお、感染リスクの低い体組成が計れる「INBODY」の測定を行うなど、感染防止対策を徹底したうえで、出来る範囲で県民の健康の保持増進に努めた。

○県民へのメディカルチェック・体力測定等の実績

測定の種類等	実施日数	測定者数	一 般	競技者
健康・体力測定	0日	0人	0人	0人
新体力測定	2日	325人	325人	0人
体力測定（INBODY）	47日	142人	142人	0人
筋力測定	0日	0人	0人	0人
最大酸素摂取量測定	0日	0人	0人	0人
合 計	49日	467人	467人	0人

イ) メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム予防のための運動指導企業や高齢者団体に対して体力測定を積極的に行い、日常生活の中で身体活動をより一層取り入れ、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの予防を図り、健康・体力の保持増進が図られるよう運動指導を行う予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

出張新体力測定 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ウ) 本協会ホームページで発信した健康増進動画等

- 家でもできる運動紹介（筋トレ・ストレッチ）
- おうちでかんたん！体力測定（子ども向け）
- 家でできる簡単ロコモチェック！（高齢者向け）
- ぐんぐん体操動画
- 国民体育大会競技紹介動画

6 スポーツ医科学の普及に関する事業

(1) スポーツ医科学普及事業

県民が生涯にわたり安全で効果的にスポーツを行うことができるよう、薬物に対する意識を高めスポーツ障（傷）害への対処方法等を指導し、健康状態に応じたスポーツを行うことができるよう実施する予定であったが一部事業を除き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

ア) アンチドーピング推進活動事業

国体選手を中心とした健全なスポーツ活動の推進を目的に、本県選手の薬物使用・誤用への認識を高め、ドーピング防止教育・啓発活動を積極的に実施した。ドーピング防止の教育・啓発活動のための資料収集と情報提供、選手・指導者を対象としたドーピング関係書類の配布、アンチ・ドーピング推進班による会議の開催及び研修事業参加、国体選考会時での監督等への直接指導、ドーピングに関する問い合わせへの対応を行い、ドーピング防止の教育・啓発活動に努めた。

○アンチ・ドーピング指導

- 期 日 令和3年1月 5日（火）・ 1月22日（金）
 ※令和2年8月20日（火）・ 8月30日（金）・ 9月19日（木）は
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
- 会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
- 対 象 国民体育大会 本県代表監督及び選手等

イ) スポーツドクター養成研修事業

スポーツ愛好者及び競技選手がスポーツ障（傷）害の予防や効果的に競技力向上が達成できるよう、日本スポーツ協会公認スポーツドクターを養成する研修会を県医師会・医療機関と連携し実施するとともに、県内のスポーツドクターの資質向上を図るためスポーツドクター協議会と連携し、県内で開催する各種大会へ医事協力、スポーツドクター会員の定期的研修会の開催、県内地域で講演会講師の派遣等を実施し公認スポーツドクターの活動の充実を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

○スポーツドクター研修会

期 日 令和2年4月18日（土）

会 場 群馬大学医学部附属病院 アメニティー講義室
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ウ) トレーナー養成講習会事業

スポーツ愛好者及び競技選手の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等の指導・助言を行い競技力向上対策を効果的に行うため本協会認定アスレティックトレーナー養成講習会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

○アスレティックトレーナー養成講習会

期 日 令和2年11月12日（木）・13日（金）

会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ) スポーツ医事相談事業

健康の保持増進やスポーツに関わる障害等の早期発見、早期治療及びその予防等について電話等により相談を受けて、県内の公認スポーツドクター医療機関を紹介した。

また、スポーツ医科学に関する講演会を日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、医師、大学教授、スポーツ医科学委員会等の協力のもと各市町13会場において「スポーツ医科学講演会」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止とした。

No	市町村名	演 題	No	市町村名	演 題
1	館林市	サプリメントとアンチドーピング ～うっかりドーピングを防ぐために～	8	渋川市	—
2	前橋市	中高年の体幹トレーニング	9	中之条町	スポーツのための積極的食事方法について
3	藤岡市	トレーニング スポーツをする人の体づくりとは？	10	桐生市	—
4	千代田町	働き盛りの方必見！パフォーマンスUPトレーニング	11	草津町	スポーツのケガの予防とその処置
5	高崎市	トレーニングについて	12	沼田市	暴力やハラスメントのないスポーツ指導について
6	長野原町	ジュニア期のトレーニングについて	13	富岡市	子どもから大人まで行える体幹トレーニングとストレッチ
7	甘楽町	熱中症予防			

Ⅲ 競技力向上を推進する事業

7 国民体育大会への選手等選考及び派遣に関する事業

(1) 国民体育大会等派遣事業

国民体育大会本大会及び関東ブロック大会において本県選手が活躍することは、県民へ感動と活力を与えるとともに、スポーツへの意識を高め、各種スポーツの普及振興にも寄与すると考える。本県選手団が活躍するため、競技力の高い代表選手の選考及び開催地への派遣等の諸事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため第75回国民体育大会本大会（鹿児島国体）は令和5年に特別大会として実施することとなった。また、第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会は選手・監督の安全を最優先するため選手団の派遣を取りやめ、第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会は中止となったことから、アイスホッケー競技の関東ブロック大会とフィギュア競技の全国予選会への派遣のみとなった。

ア) 選手・監督の選考、選手団等の派遣

各加盟競技団体の予選会を通過した優秀な選手の参加条件を確認後、国民体育大会推進委員会で選考し本県代表として派遣する予定であったが、国民体育大会本大会は延期となったため、スケート競技会とスキー競技会の選手選考を実施した。

イ) 激励活動

国民体育大会へ出場する本県選手団を県当局と連携し激励する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

大会名及び事業名	期日	会場及び競技名
第75回国民体育大会 本大会会期前	令和2年 9月12日（土） ～9月20日（日）	鹿児島県下 水泳競技ほか2競技
第75回国民体育大会 本大会	令和2年10月 3日（土） ～10月13日（火）	鹿児島県下 陸上競技ほか35競技
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年6月19日に主催4団体が第75回国民体育大会本大会（鹿児島国体）を令和5年（2023年）に特別大会として延期することを決定した。		
第75回国民体育大会 関東ブロック大会	令和2年12月 6日（日） ～12月20日（日）	神奈川県下アイスホッケー競技 46人 兵庫県 フィギュア競技 6人
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年6月19日に主催4団体が第75回国民体育大会本大会（鹿児島国体）を令和5年（2023年）に特別大会として延期することを決定し、本大会における関東ブロック大会は中止となった。 ただし、アイスホッケー競技の関東ブロック大会とフィギュア競技の全国予選会へは監督、選手を派遣した。		
第76回国民体育大会 冬季大会スケート・アイスホッケー	令和3年1月27日（水） ～1月31日（日）	愛知県・岐阜県 スケート・アイスホッケー競技 選手・監督 43人
※令和3年1月5日の第2回国民体育大会推進委員会において選手団43人の選考を行い、派遣に向けて準備を進めていたが、1月13日に開催地である、愛知・岐阜両県に緊急事態宣言が発令されたことから、群馬県、群馬県スケート連盟と協議の結果、選手・監督の安全を最優先するため、1月20日に選手団の派遣を取りやめることとした。		
第76回国民体育大会 冬季大会スキー	令和3年2月18日（木） ～2月21日（日）	秋田県 スキー競技 選手・監督 39人
※令和3年1月22日の第3回国民体育大会推進委員会において選手団39人の選考を行い、派遣に向けて準備を進めていたが、2月1日に日本スポーツ協会より開催中止の通知があった。		

ウ) 成績

第75回国民体育大会成績
天皇杯、皇后杯は空位

第76回国民体育大会冬季大会成績
天皇杯 27位 (得点 20.0点) 皇后杯 25位 (得点 10.0点)

8 スポーツ指導者養成に関する事業

(1) 指導者養成事業

県民がスポーツを安全で、正しく、楽しくできるように、指導・助言ができる公認スポーツ指導員の講習会を実施した。

ア) スポーツ指導員養成講習会

地域スポーツクラブやスポーツ教室等において、参加者の年齢や性別など対象者に合わせた競技別の技術指導等に当たる者を養成する事業であり、日本スポーツ協会がNHK通信講座を活用して共通科目を担当し、本協会が専門科目を委託事業及び独自事業として実施した。

また、講習会・研修会を通じ、自己の役割や責任及び人道的問題（指導者の競技選手に対する暴力やセクシャル・ハラスメント）について指導をした。

○公認コーチ1養成講習会（専門科目）

対象競技団体（委託） 弓道競技
受講者数（委託） 21人
対象競技団体（独自） 実施なし

○公認コーチ2養成講習会（専門科目）

対象競技団体（委託） 実施なし
対象競技団体（独自） 実施なし

○公認コーチ2養成講習会（共通科目）

実施なし

イ) スポーツ指導者研修会

公認スポーツ指導者制度の有効期限は4年間であり、4年毎に更新するための研修会として開催するとともに、スポーツに関する最新の知識や情報を獲得し、指導場面で実践できるような資質を向上させることを目的として年2回実施を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

○第1回スポーツ指導者研修会

期 日 令和2年8月2日（日）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○第2回スポーツ指導者研修会

期 日 令和3年2月7日（日）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ウ) スポーツ指導者協議会育成事業

県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者が共通認識を持ち、資質向上及び指導力向上を図ることを目的とした群馬県スポーツ指導者協議会が組織されている。

その組織を育成することは本協会の目的である指導者の育成に繋がると考えることからその運営に対し支援、助成をおこなった。

9 競技力向上・選手強化対策に関する事業

(1) 競技力向上対策事業

本県が高い水準で安定した競技力を確保し、国際大会や全国大会において優秀な成績を収めるため、経済的基盤の整備や指導者の確保、一貫指導体制の確立等に取り組み、競技力向上の推進を図った。各事業別の補助金執行状況は競技力向上対策費補助金執行状況明細(別表)のとおりである。

ア) 団体対策推進事業

競技団体等の強化・育成事業の推進及び各競技団体・学校スポーツ団体の強化体制や強化組織の育成と競技力の向上を図るために団体対策費として、各競技団体に補助金を交付し、内訳は競技力向上対策費補助金一覧表(別表)のとおりである。

- ① 競技団体強化事業 (国体正式競技団体)
- ② 高体連強化事業 (県高等学校体育連盟)
- ③ 中体連強化事業 (県中学校体育連盟)

イ) 目指せ！未来のアスリート わくわく運動プロジェクト事業

2029年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会で活躍が期待される世代の子ども及びその家族を主な対象として親子スポーツ教室や様々な運動体験を11月14・15日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

ウ) ぐんまスーパーキッズプロジェクト事業

本県競技力水準の一層の向上を図るため、体力・運動能力に優れたジュニア選手を早期に発掘し、適正な育成プログラムを計画的・継続的に実施することにより、日本、世界へ通用するトップレベルの選手の育成を競技団体と連携し実施した。

・ 実施競技及び人数

スキー競技20人・陸上競技26人・水泳競技14人・空手道競技35人・
 ボウリング競技17人・ゴルフ競技30人・スケート競技10人・
 レスリング競技18人・馬術競技28人・自転車競技21人・
 ボクシング競技 7人・山岳競技20人・アーチェリー 5人 合計251人

・ 選考会

期 日 令和2年11月14(土)・15日(日)
 会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンターぐんまアリーナ
 参加者数 11月14日(土) 6競技53人
 11月15日(日) 7競技68人

・ 認定式

期 日 令和2年6月20日(土)
 会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンターぐんま武道館 第1道場
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・ 研修会

期 日 令和2年11月28日(土)
 会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンターぐんま武道館 大道場
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ) 拠点指定選手強化事業

全国・世界に通用するジュニア育成を目的に、公共スポーツ施設等を活動拠点として活用した継続的な一貫指導体制の構築を図った。

団体名	拠点施設名	団体名	拠点施設名
県スケート連盟	ALSOKぐんまサバアリーナ等、 県総合スポーツセンター伊香保 リンク	県アイスホッケー連盟	ALSOKぐんまアイスアリーナ、 県総合スポーツセンター伊香 保リンク
県スキー連盟	尾瀬武尊高原スポーツパーク クロスカントリーコース	群馬陸上競技協会	県立敷島公園補助競 技場
県水泳連盟	県立敷島公園水泳場	県ホッケー協会	月夜野緑地施設内運 動広場
県体操協会	高崎アリーナ	県レスリング協会	明和中学校武道場
県ソフトテニス連盟	ALSOKぐんま総合スポーツセ ンターテニスコート	県弓道連盟	伊勢崎市あずま弓道 場
県ラグビーフットボ ール協会	下豊岡グラウンド、八千代 グラウンド、島村グラウンド	県カヌー協会	桃の木川カヌー艇庫

オ) 中学生特別強化事業

県中学校体育連盟に競技部が設置されていない競技団体（県中学校体育連盟準加盟競技部の競技団体を含む）を対象として、積極的にジュニア強化対策を推進している競技団体に対してジュニア強化事業費を補助し、全国トップレベルのジュニア選手を育成することを目的とし、事業を実施した。

なお、県テニス協会は予定していた事業の一部を実施したが、その他の競技団体は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

カ) アスリートぐんまプロジェクト事業

○アスリートサポート事業

群馬県の競技団体等に所属する選手、群馬県出身の選手で競技団体から推薦された選手を対象に、オリンピック・パラリンピック競技大会や国際大会で活躍が期待される選手に対し、合宿や遠征費用、支える栄養士・トレーナー等に係わる経費を補助した。

認定選手 17人

競技名	認定選手数	競技名	認定選手数
スキー	2人	ソフトボール	2人
陸上	2人	空手道	2人
水泳	2人	トライアスロン	2人
ウエイトリフティング	1人	パラリンピック水泳	1人
ハンドボール	2人	パラリンピック陸上	1人

○ドリームロード事業

群馬県の中学校（中等教育学校前期課程を含む）に在籍し、群馬県の競技団体並びに中学校体育連盟から推薦された実績・将来性のある選手及び指導者を指定し、競技力向上のための意識を高めた。

認定選手 13人

競技名		
スケート	ボクシング	卓球
スキー	体操（体操・新体操）	柔道
陸上	バスケットボール	ソフトボール
水泳（競泳）	ハンドボール	バドミントン

認定指導者 8人

競技名		
陸上	バスケットボール	柔道
ボクシング	ハンドボール	バドミントン
体操	卓球	

キ) 大学企業等強化支援事業

国民体育大会において、優秀な成績を収めている大学・企業等のチームを指定し、強化合宿や遠征費等を補助することで重点的強化事業の推進を図った。ただし強化選手の体力測定・メディカルチェックは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

ク) マネジメントコーチ推進事業

各競技団体にマネジメントコーチを適正に配置し、全国・世界レベルの競技者を育成する。

また、各競技団体の強化組織体制を整備し、競技力向上対策の企画と推進により競技力の向上を図った。ただし委嘱式並びに検討会議は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

ケ) 優秀指導者育成事業

県内の指導者を対象とした中央指導者招聘研修会及び全国の優秀指導者が指導する現場での研修により、本県各競技団体指導者の育成・資質向上を図った。

実施団体名		
県スケート連盟	群馬陸上競技協会	県テニス協会
県体操協会	県自転車競技連盟	県バドミントン協会
県ボウリング連盟	県高等学校体育連盟	県中学校体育連盟

コ) 指導者派遣事業

ジュニア選手の活動場所である運動部やクラブへ将来指導者としての活躍を希望する現役選手（トップアスリート）を派遣し、ジュニア選手の育成を図った。

No	団体名	活動場所	指導種目	指導者
1	県スケート連盟	孺恋高校	スケート	阿部 友香
2	県スキー連盟	片品村	スキー	飯塚 剛
3	群馬陸上競技協会	前橋育英高校他	陸上	高橋 輝
4	県サッカー協会	関南サッカーパーク	サッカー	宮崎 明浩

サ) スポーツセミナー事業

各競技団体、学校スポーツ団体並びに地域団体の中心的役割を果たしている指導者を対象とし各競技ごとの一貫強化体制の確立と競技力向上を図ることを目的に12月5日に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

シ) スポーツ医科学活用事業

競技力向上対策事業全般の評価・分析及び結果のフィードバック等を担当するスポーツ医科学スタッフの確保と活用を図るために、県総合スポーツセンターを医科学研究拠点として位置づけ、本協会強化指定選手及び指定競技団体の競技力向上を目指した各種測定やメディカルチェック、心理テスト等の研究を実施し、強化現場にフィードバックを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止となった。

ス) 全国大会等選手団支援事業

国民体育大会本大会や冬季大会、関東ブロック大会の開催地に選手強化委員や支援スタッフを派遣することにより、全国等の競技レベルを分析し、本県の競技力レベルの向上に役立てることを目的に実施する予定であったが、全国大会等が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

10 競技力向上支援に関する事業

(1) オリンピック・パラリンピック選手支援事業

本県出身のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピック競技大会や世界選手権等で活躍できるよう、県内企業や個人の協力者から寄付金を集め、選手強化活動の支援を行った。

支援選手名	競技名	主な成績
倉林 巧和	自転車	全日本自転車競技選手権大会 1kmタイムトライアル 1位 4kmインディビジュアルパシュート 1位
宮澤 拓哉	ボウリング	第49回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会 男子選手権者決定戦優勝

(2) ぐんまのスポーツ環境整備支援事業

2029年2巡目ぐんま国体の開催が決定し、本県スポーツ選手の発掘及び育成の観点から加盟競技スポーツ団体のスポーツ環境整備を支援し、競技力向上を図る支援をした。

競技団体	内容
群馬陸上競技協会	プライオボックスⅡ 30センチ (3台) プライオボックスⅡ 45センチ (3台) プライオボックスⅡ 60センチ (3台) メガソフトメディシンボール 3キロ (5個) フレキハードルミニ (25台) ミニハードル 15センチ (5台組-17組)
県サッカー協会	サッカーゴールネット (14台)
県ボート協会	R P3エルゴ
県バスケットボール協会	バスケットボール 7号 (6球)

	バスケットボール 6号 (6球)
県レスリング協会	ポイントプレート (得点掲示板)
県セーリング連盟	救助艇の船外機
県山岳連盟	子供用ハーネス (6個) 子供用ヘルメット (6個) トレーニングセット レーザーポインター

(3) 大会等支援事業

各種大会の開催及び海外派遣選手に対し支援することで県民のスポーツへの興味関心を高め、スポーツの底辺拡大を図ることとしていたが、新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの大会が中止となった。

ア) 海外派遣選手壮行補助事業

本県選手等が海外競技会（オリンピック・世界選手権・アジア大会等）に参加する際に壮行金を交付することとしていたが、新型コロナウイルスの影響により参加はなかった。

大会名	交付者数
世界選手権出場者	0人
その他の国際競技大会出場者	0人

イ) 県小体研記録会補助事業

県小学校体育研究会が開催する陸上、水泳教室記録会のために補助金を交付し児童のスポーツ普及・育成を図り、県小学校体育研究会のスポーツ指導の資質向上を目的とした研修会等についても支援することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1大会のみの支援となった。

- 第50回小学校水泳教室記録会
- 第49回小学校陸上教室記録会
- 第12回群馬県小学校体育学習研修会

上記3大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

○群馬県小学校陸上三種競技チャレンジ

期 日 9月～11月
会 場 県内各小学校
参加者数 25,203人

ウ) 県民スポーツ大会補助事業

県民を対象に開催している県民スポーツ大会（下記）の実施競技団体に補助金を交付し大会の支援を行うものであるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止となった。

大会名	期 日	会 場	参加人数
夏季大会（水泳）	8月22日	県立敷島公園水泳場	—
秋季大会（21競技）	11月 7日・14日	ALSOKぐんま総合スポーツセンター 他14会場	—
100km駅伝競走大会	1月31日	正田醤油スタジアム群馬 付設国体道路折り返しコース	—
冬季大会（スケート）	2月 6日	県総合スポーツセンター 伊香保リンク	—
冬季大会（スキー）	2月21日	丸沼高原スキー場	—

(4) スポーツ顕彰事業

本県のスポーツの振興と発展に貢献した個人・団体の功績を讃え、競技力の向上とスポーツの推進及び郷土意識の高揚に資することを目的に表彰を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月27日開催予定であった式典は中止とした。

○群馬県スポーツ協会長賞表彰

受賞者数	スポーツ功労者賞	40人
	最優秀選手賞及び最優秀指導者賞	69人
	優秀選手賞	63人
	ジュニアスポーツ奨励賞	79人
	合計	251人
感謝状		15団体

IV 本協会の運営

1 理事会等の運営

会 議 等 名		期日または決議日	議 事 等
理 事 ・ 評 議 員 会	第36回理事会（通常） （決議の省略）	令和2年 6月 9日（火）	令和元年度事業報告及び決算、評議員の辞任に伴う後任候補者、理事の選任、監事・委員会委員の辞任に伴う後任候補者、加盟団体規程の改正、ぐんまのスポーツ環境整備等支援事業対象団体、第19回評議員会（決議の省略）の招集
	第37回 "（臨時）	令和3年 1月15日（金）	2020年群馬県スポーツ協会長賞受賞者の決定、理事長等による職務執行状況報告
	第38回 "（通常）	令和3年 3月 5日（金）	令和2年度収支予算の補正、倫理・コンプライアンス委員会の設置、令和3年度事業計画・収支予算、国民体育大会ユニフォームの作製、第20回評議員会の日時および場所並びに議事に付すべき事項、理事長等による職務の執行状況報告
	第19回評議員会（定時） （決議の省略）	令和2年 6月23日（火）	令和元年度事業報告及び決算、評議員・理事・監事の選任
委 員 会	第20回 "（臨時）	令和3年 3月19日（金）	令和2年度収支予算の補正、令和3年度事業計画及び収支予算
	第1回総務委員会 （書面表決）	令和2年 5月28日（木）	令和2年度事業報告及び決算、理事候補者、監事・委員会委員辞任に伴う後任候補者、加盟団体規程の改正、群馬県生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰の候補者推薦
	第2回 "	令和3年 1月15日（金）	2020年群馬県スポーツ協会長賞受賞者の選考、組織規程の改正
	第3回 "	令和3年 3月 3日（水）	令和2年度収支予算の補正、倫理・コンプライアンス委員会の設置、令和3年度事業計画・収支予算、チャレンジスポーツ教室対象団体、国民体育大会ユニフォームの作製、オリンピック・パラリンピック支援事業実施要項（案）
	第1回生涯スポーツ 推進委員会	令和2年 7月16日（木）	県民スポーツ大会の交付金等・日協公認スポーツ指導者等表彰候補者の推薦

員	第2回	〃	令和3年 2月25日 (木)	令和3年度生涯スポーツ関係事業
	第1回選手強化委員会		令和2年 4月10日 (金)	令和2年度競技力向上対策費団体強化エ2冬 令和2年度競技力向上対策費団体強化エ2冬 対策推進事業費、トくんま特別強化エ2冬 事業、選手指導者選考、令和2年度強化指定選手及 季競技)等
	第2回	〃	令和2年 9月 4日 (金)	令和2年度強化指定選手及び運動部等
	第3回	〃	令和3年 3月12日 (金)	令和3年度競技力向上対策費予算、競技スポーツ推進計画、競技力向上対策事業計画等
	第1回国民体育大会推進委員会		令和2年 9月 1日 (火)	国民体育大会ユニフォームの作製について
	第2回	〃	令和3年 1月 5日 (火)	第76回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会選手団選考等
	第3回	〃	令和3年 1月22日 (金)	第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会選手団選考等
	第1回スポーツ医科学委員会		令和2年 7月10日 (金)	令和元年度事業報告等について
	第2回	〃 (書面表決)		令和3年 3月12日 (金)
諸 会 議 等	加盟競技団体等理事長会議		令和2年 4月17日 (金)	令和2年度事業計画及び予算、その他諸事業について
	監事監査		令和2年 5月19日 (火)	令和元年度事業報告及び決算に係る監査
	加盟競技団体事務局研修会		令和2年11月 7日 (土)	競技団体の強化事業や会計処理のディスカッションやコンプライアンス体制構築に向けた研修会
	令和2年度競技団体別選手強化担当者会議		令和3年 3月 4日 (木)	令和2年度競技団体競技力調査
	第1回国民体育大会ユニフォーム検討会		令和3年 3月12日 (金)	国民体育大会のユニフォーム選定の手続きについて

2 事務局の運営

(1) 加盟団体及び群馬県との連携

(2) 本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努めた。

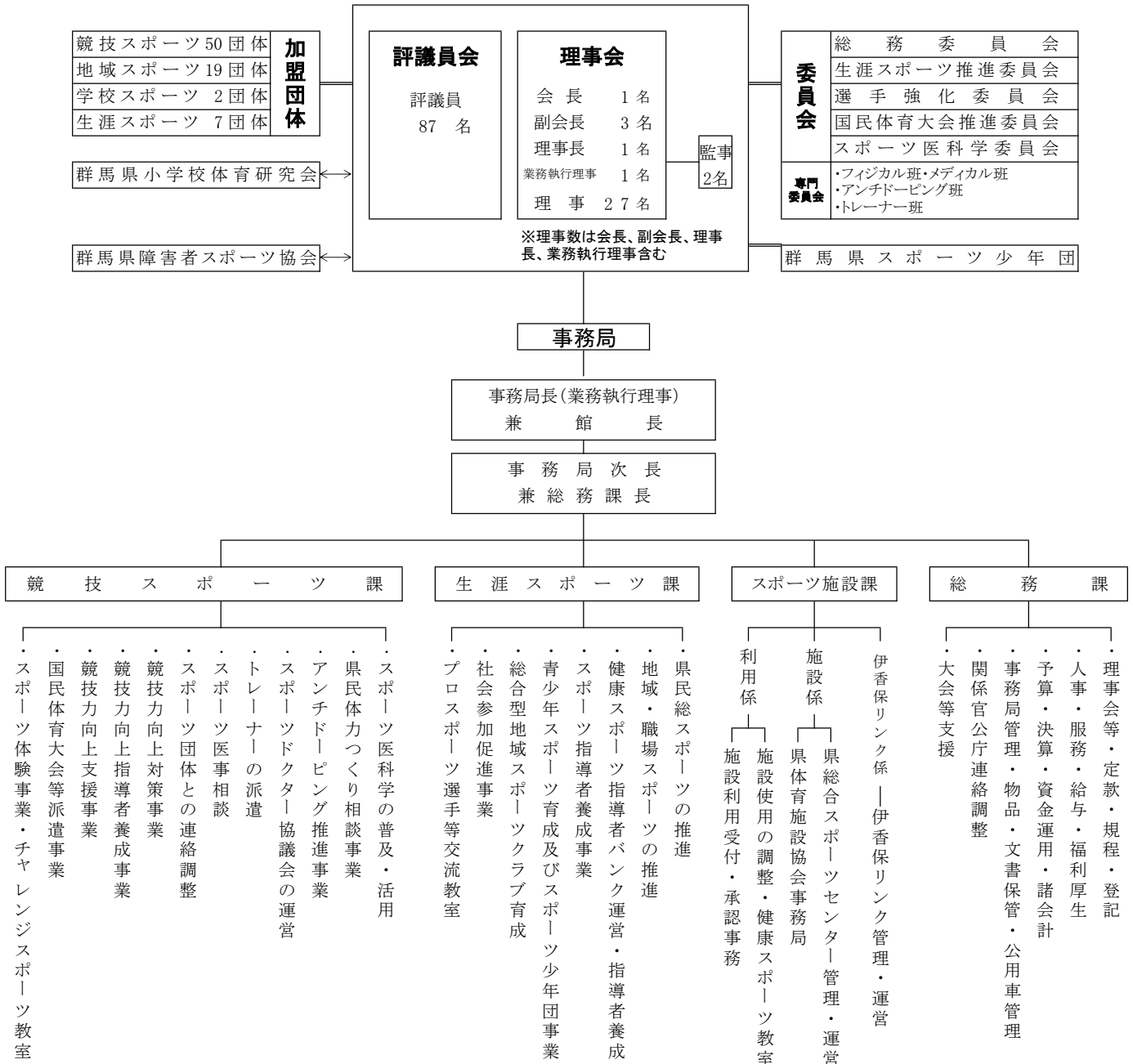
ア) 賛助会員の募集実績 66件 1,105,000円

イ) オリンピック・パラリンピックに向けての選手競技力向上事業における寄付金の募集実績 14件 1,690,000円

ウ) ぐんまのスポーツ環境整備等支援事業における寄付金の募集実績 4件 1,610,000円

公益財団法人群馬県スポーツ協会組織図

令和3年3月31日現在



区分	プロパー職員	常勤役員	専門員	年度雇用職員	計
事務局長		1			1
次長	1 ※兼務				0
総務課	4			1	5
スポーツ施設課 (伊香保リンク)	6 (2)		1	25 (5)	32 (7)
生涯スポーツ課	4			1	5
競技スポーツ課	5		1	3	9
合計	19	1	2	30	52